

# 1-8 自己実現に向けて

## 進路の計画

### 1. 題材設定の理由

学年や学期の変わり目などの節目には、個人や班で目標をもたせ、その達成に向けて様々な取り組みを行っている。また、前回「1-7 自分を知る」では、自分像を明らかにすることにより、自己理解を図るとともに、将来の夢や希望の実現に向けて努力すべき点とその方法について学習してきた。そこで、さらに自分を伸ばすために、自分の生活や努力の足跡を見つめさせ、問題点を明らかにしてそこから改善策を考えさせていきたい。

### 2. 指導のねらい

自己の力を信じてねばり強く努力し続けることの大切さに気づき、自分をより成長させるために、今後の努力の方向を見つめることができる。

### 3. 指導計画（全1時間）

事前	・ P.20の①で、1-2③で書いた「努力していること」がどのくらいできたか、自己評価しておく。 ・ その自己評価の理由も書けるといい。
本時	・ これまでの自分の努力を振り返らせ、さらに自分を伸ばしていくための方法を考え、実行に向けて努力する決意をもたせる。
事後	・ P.21③の各個人の努力目標をつかみ、前向きな姿勢を評価していく。

#### <説話例 1 >

##### 「今の自分は将来の自分へとつながっている」

ロサンゼルス、バンコク、オークランド、東京の子供が自分の将来に対してどんな見通しを持っているかというアンケートの結果を見たことがあります。たとえば、「みんなから好かれる人になる」という質問に対して、「きっと、たぶんそうなる」と答えた人の割合は、ロス、バンコクの90%に対して東京は58%、「仕事で成功する」という項目では、どの都市でも90%以上であるのに対して、東京は60%、「しあわせな家庭を作る」の項目でも、他の都市では98%、97%、92%に対して東京は75%という結果でした。

東京の子供たちは環境的には恵まれていても、自分に対して自信を失いかけていたり、将来に不安をもっていたりしているのではないかと指摘されていました。今日の学習を機会に、自分をもう一度見つめ直してみると、「将来、こんなことをやってみたい」とか、「自分のよさを生かす仕事を見つめる」などの目標をもち、その実現に向けて、今、自分にできることを着実に実行していきましょう。

#### <説話例 2 >

##### 「ライバルをもとう」

ライバルという言葉の由来を知っていますか？ これはリバー、つまり「流れのある川を泳いで渡りきる二人」からきているということを知っています。つまり、ライバルはいろいろなスポーツのように勝ち負けを決める人どうしのことではないし、ましてや、格技のように取り組み合って相手を負かすことでもありません。激流を泳ぎきると同じ目標に向かって互いに競い合い、励まし合っていく仲間のことをライバルといいます。みなさんも、自分をより高めていくために、よいライバルをもちましょう。

	活動のねらい	活動の内容	指導・援助の留意点	資料等												
はじめの活動	・ これまでの取り組みを振り返ることができる。	◎これまでの自分の生活を振り返り、頑張ってきたことについて発表する。 ・ 1学期の反省から毎日2時間は家庭学習をしようと決めて努力している。 ・ 勉強をしようと思ってもなかなか身が入らない。 ・ 自分の係活動は責任をもって取り組んでいる。 ・ 忘れ物が多かったので、生活の記録を利用して持ち物点検をしている。まだ、時々忘れることがある。	・ 具体的な事実をP.20①に集約して、生徒に語らせる。 ・ 「自分を知る」の学習で、各自がもった自己課題をもとに考えさせる。 ・ なかなか頑張ることが続かない要因にも目を付けさせる。 ・ 継続することの難しさをおさえ、A子さんの手紙の価値を高めさせる。	・ 生活の記録ノートなど。 ・ P.20①												
課題：目標に向かって努力し続けることの大切さを考えよう。																
中心的な活動	・ 自分の可能性を信じ、さらに自分を伸ばすための努力課題をもつことができる。	◎P.20②のA子さんの作文を読んでA子さんの努力の様子や自分と比較したことをまとめる。 ・ P.21②の(1)に記入する。 ・ 自分の取り組みと比較して感想をまとめ、②の(2)に記入する。 ・ やらうと決意することはあるが、しばらくすると忘れてしまう。A子さんは自分でそのことに気づいている。 ・ 努力したり、研究したりすることを楽しんでいるようであらやましい。	・ P.20②のA子さんの作文の中で、継続して取り組んでいることに気づかせる。 ・ 自己実現のために選択したことは何かを考えさせる。 ・ 進路選択には、時間がかかることも確認させたい。	・ P.20②のA子さんの作文												
まとめの活動	・ 今後の努力目標を設定し、実現に向けて精いっぱい取り組む決意をもつことができる。	◎自分の夢を実現するため、今後どうすべきかをまとめる。 ・ 今後の努力目標を考え、P.21③に記入する。 ・ 班内で発表会を行い、仲間の努力目標の実現に向けてアドバイスする。 (例) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>名前</th> <th>努力目標</th> <th>班員からのアドバイス</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A君</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Bさん</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C君</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名前	努力目標	班員からのアドバイス	A君			Bさん			C君			・ 具体的な努力目標になるように配慮する。 ・ 願いや目標のない自分でも将来の自分のために必要な努力は何かをまとめさせる。 ・ 自分の決意を仲間と交流させることで、その実現に向けてより強い意志をもたせる。  ・ その職業に直接関係のないような努力であっても進路実現には大切であることを確認する。 ・ 今の勉強を頑張る ・ あいさつ、そうじ、規律ある生活など	・ P.21③
名前	努力目標	班員からのアドバイス														
A君																
Bさん																
C君																
<p>◎記録者が本時のまとめを発表する。 ◎先生の話聞く。</p> <p>※1-7の指導内容との関連を考える。</p>																